

受講のご案内

1 彩の国環境大学とは

彩の国環境大学は、県民の皆様が人間の活動と環境の関わりについて理解を深め、環境に配慮したライフスタイルや社会経済システムを確立していくための学習の場であるとともに、循環型社会の構築に向けて地域で環境保全活動や環境学習活動を行うリーダーを育成することを目的として埼玉県が開設するものです。

2 講座について

	基礎課程	実践課程
開催方法	会場+オンデマンド開催 (会場開催+録画したデータをYouTubeで一定期間配信します)	会場開催 (会場での受講となります)
募集人数	100人	40人
内容	環境問題全般について基礎的な知識を学びます。	専門的な知識や地域で活動する指導者を養成するため必要な知識や手法を学びます。
日程	別掲のスケジュールをご覧ください。	
申込資格	県内に在住、在勤又は在学の18歳以上の方で、地域で環境保全活動や環境学習活動を行う意欲のある方	
受講料	無 料	
会 場	会場開催の講座については 埼玉県環境科学国際センター 研修室 (加須市上種足914、下記案内参照)	

3 申込方法

彩の国環境大学受講申込書に必要事項を記入し、メール、郵送あるいは持参のいずれかの方法によりご提出ください。

- 【メールの場合】 受講申込書を添付し、g7383313@pref.saitama.lg.jp へ送信してください。
- 【郵送の場合】 申込書を封筒に入れて、返信用切手(84円分)を同封して下記郵送先あて送付ください。
郵送先 〒347-0115 加須市上種足914 埼玉県環境科学国際センター「彩の国環境大学」係
- 【持参の場合】 休館日(月曜日、ただし月曜日が祝日の場合はその翌日)を除く午前9時から午後5時までにご持参ください。

4 締 切 り **令和6年8月11日(日)必着**

5 注意事項 基礎課程、実践課程の同時申込みが可能です。
応募者多数の場合は、抽選を行い受講者を決定します。

6 聴講について ①過去に彩の国環境大学を修了した方②埼玉県環境アドバイザーに登録している方③身近な環境観察局に登録している方④埼玉県環境学習応援隊に登録している企業等に所属している方⑤埼玉県環境SDGs取組宣言企業として埼玉県ホームページ等に掲載されている企業等に所属している方⑥④、⑤に準ずる企業や団体に所属している方は、定員に空きがある場合に聴講生として受講できます。※基礎課程については、中学生及び高校生の方も聴講可
聴講を希望する方は、氏名、住所(市町村まで)、連絡先電話番号、学校名などを事前にメールでご連絡ください。折り返し聴講の可否について連絡いたします。
※御希望の方については、聴講証明書を発行いたします(基礎課程については、証明書の発行に受講報告書の提出が必要です。)

案 内 図



交 通

- JR高崎線鴻巣駅下車 加須駅行きバスで約15分
- 東武伊勢崎線加須駅下車 鴻巣行きバスで約15分
- *「環境科学国際センター」下車 徒歩3分
- 圏央道「白岡菖蒲IC」から加須方面へ約20分
- 圏央道「桶川加納IC」から加須方面へ約20分

埼玉県環境科学国際センター
〒347-0115 埼玉県加須市上種足914
電話0480-73-8363 Fax0480-70-2054
メールアドレス g7383313@pref.saitama.lg.jp

令和6年度 彩の国環境大学 講義スケジュール

1 開講式・公開講座【会場開催+オンデマンド開催】

期 日	時 間	講義内容	講 師
8月24日(土)	13:00~13:15	開講式	-
	13:30~15:30	公開講座 「丸い地球で彩の国の環境を考える」	埼玉県環境科学国際センター 総長 植松 光夫

2 基礎課程【会場+オンデマンド開催】

回	期 日	時 間	講義内容	講 師	受講報告書提出期限 (動画公開終了日)
1	8月31日(土)	10:00~12:00	埼玉県の環境の現状と今後の目指す姿 ～環境保全・創造の取組～	埼玉県環境部環境政策課 企画調整・環境影響評価担当 技師 豊田 りさ子	9月11日(水)17時
2	8月31日(土)	13:00~15:00	埼玉の大気環境を知る	埼玉県環境科学国際センター 大気環境担当 担当部長 佐坂 規規	9月11日(水)17時
3	9月7日(土)	10:00~12:00	埼玉県における気候変動の実態と2つの対策	埼玉県環境科学国際センター 温暖化対策担当 担当部長 嶋田 知英	9月18日(水)17時
4	9月7日(土)	13:00~15:00	災害時の地下水利用からみた地下水管理・利用施策の諸課題	埼玉県環境科学国際センター 土壌・地下水・地盤担当 主任研究員 柿本 貴志	9月18日(水)17時
5	9月14日(土)	10:00~12:00	私たちのくらしと廃棄物～ごみ処理の変遷と制度～	埼玉県環境科学国際センター 資源循環・廃棄物担当 担当部長 長谷 隆仁	9月25日(水)17時
6	9月14日(土)	13:00~15:00	化学物質と私たちのくらし ～健康で環境にやさしい生活をおくるために～	埼玉県環境科学国際センター 化学物質・環境放射能担当 担当部長 養毛 康太郎	9月25日(水)17時
7	9月21日(土)	10:00~12:00	生物多様性を考える、埼玉県の現状	埼玉県環境科学国際センター 自然環境担当 専門研究員 角田 裕志	10月2日(水)17時
8	9月21日(土)	13:00~15:00	川の国埼玉と里川の再生 ～地域の川と生き物たちを未来につなぐ～	埼玉県環境科学国際センター 水環境担当 担当部長 木持 謙	10月2日(水)17時
9	9月28日(土)	10:00~12:00	環境経済学より～気候変動問題と経済～	大月市立大月短期大学 准教授 佐藤 克春	10月9日(水)17時
10	9月28日(土)	13:00~15:00	地球環境問題と国際協力	日本大学国際関係学部 教授 鈴木 和信	10月9日(水)17時

- * 基礎課程の講義は、各々120分です。
- * 各動画は、公開開始日(講義日翌日を予定)から公開終了日まで視聴可能です。
- * 受講後に、受講報告書を提出していただきます。
受講報告書の提出により受講したものとしますので、期日までに必ず提出してください。
- * 講義内容、講師については、都合により変更となる場合があります。

3 実践課程【会場開催】

回	期 日	時 間	講義内容	講 師
1	10月5日(土)	10:00~12:00	環境学習から環境まちづくりへ	NPO エコ・コミュニケーションセン ター 代表 森 良
2	10月5日(土)	13:00~15:00	学びと参加をつなげひろげるコーディネーターの役割	
3	10月12日(土)	10:00~12:00	環境学習プログラムをデザインする	学びの広場 代表 小川 達己
4	10月12日(土)	13:00~15:00	環境学習プログラムをデザインする(演習)	
5	10月19日(土)	10:00~12:00	生物多様性の保全について	埼玉県自然学習センター 自然学習指導員チーフ 高野 徹
6	10月19日(土)	13:00~15:00	自然のしくみを知る(実地演習)	
7	10月26日(土)	10:00~12:00	事例研究 危機感が生んだ都市住民を取り込む活動手法について	NPO法人 宮代水と緑のネットワーク 代表理事 茂木 俊二
8	10月26日(土)	13:00~15:00	2030SDGsカードゲーム体験	Synapse,LLC(合同会社シ ナプス) 代表 竹元 紳一郎
9	11月2日(土)	10:00~12:00	SDGsを環境から考える	認定特定非営利活動法人 環境ネットワーク埼玉 代表理事 星野 弘志
10	11月2日(土)	13:00~15:00	環境リテラシーを考える	

4 公開講座・閉講式【会場開催】

期 日	時 間	講義内容	講 師
11月23日(土・祝)	13:00~14:30	公開講座 「湖沼の水質をコントロールするもの(河川でなくて ゴメンナサイ)」	埼玉県環境科学国際センター 所長 今井 章雄
	14:45~15:00	閉講式	-

- * 公開講座は受講生以外の方も聴講します。

●受講方法について

基礎課程	会場での参加、Youtubeによる視聴参加のいずれかの方法により受講していただきます。申込書でご希望する参加方法に○印を付けてください。 原則、全日程をご希望された参加方法で受講していただきます。 (会場参加の場合でもYoutube視聴は可能です。)	
	①	事前に講義資料・受講報告書を順次メールで送付します。(講義資料につきましても、配布しない場合もございます)
	②	動画は公開スケジュールに基づき公開し、受講者の方には視聴用URLをメールでお知らせします。
	③	受講報告書を添付したメールを g7383313@pref.saitama.lg.jp へ送信してください。 (提出期限は動画公開終了日と同じです。)

実践課程	会場開催ですので、 講義スケジュールに基づき会場を受講していただきます。 会場 埼玉県環境科学国際センター 研修室 加須市上種足914
------	--

案内図



交通

- JR高崎線鴻巣駅下車 加須駅行きバスで約15分
- 東武伊勢崎線加須駅下車 鴻巣行きバスで約15分
- *「環境科学国際センター」下車 徒歩3分
- 圏央道「白岡菖蒲IC」から加須方面へ約20分
- 圏央道「桶川加納IC」から加須方面へ約20分

●修了証書について

基礎課程の受講生で、全10講義のうち7講義以上受講した方に修了証書(電子版)を授与します。(電子メールで送付)

実践課程の受講生で、全10講義のうち7講義以上受講し、「環境学習プログラム」を作成・提出した方に修了証書を授与します。